

令和2年度 北九州地域産業人材育成フォーラム地域連携型インターンシップ

研修型（短期）インターンシップ
実施後アンケート 集計結果

【受入企業版】

北九州地域産業人材育成フォーラム
2020年12月

●アンケート概要

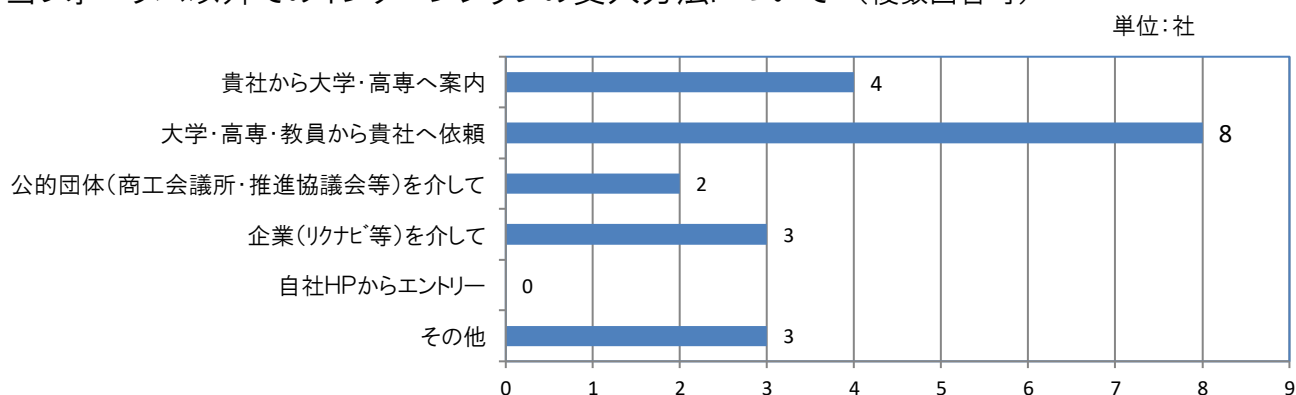
アンケート期間：2020年8月中旬～10月下旬
 対象：令和2年度 インターンシップ実施企業 21社
 回収社数：17社 (回収率 81%)

1. 2020年度のインターンシップの受入人数について

	1名	2～5名	6～9名	10～14名	15名以上	
会社全体のインターンシップ受入状況	2	12	1	2	0	単位：社

	フォーラムのみ	1～3名	4～5名	6～9名	10名以上	
フォーラム以外でのインターンシップ受入状況	6	9	0	1	1	単位：社

2. 当フォーラム以外でのインターンシップの受入方法について (複数回答可)



(上記方法を選択した理由)

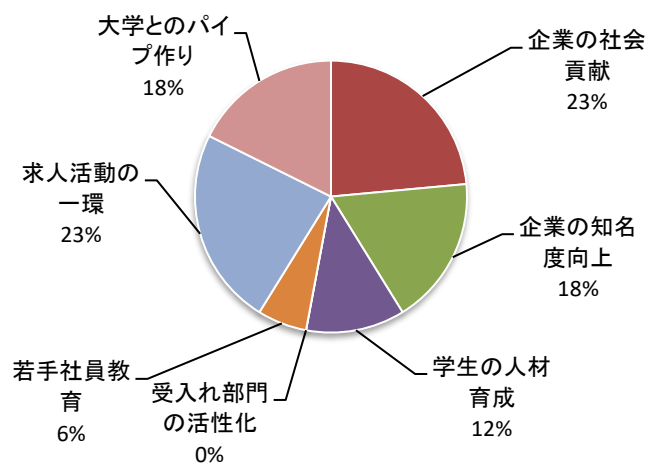
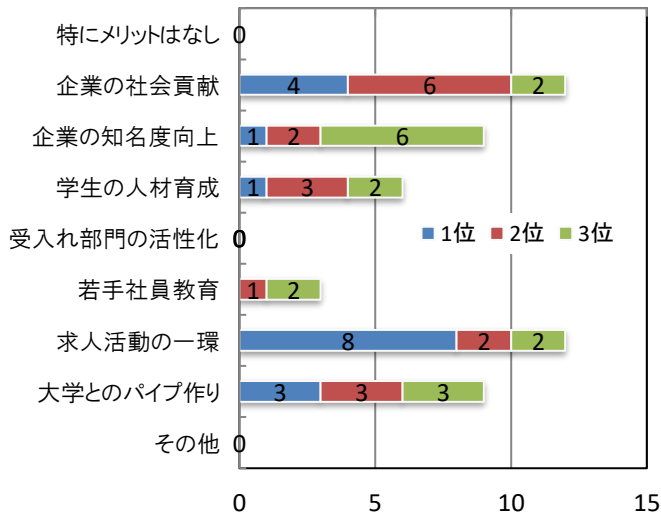
- ・ 先方と共同研究を実施しており、その関係で受入れの依頼があったため
- ・ 義肢装具士の採用活動の一環として
- ・ 大学からの案内により
- ・ 新卒採用試験で大学等とのつながりがあるため。
- ・ 応募される学生の分野(工学部・土木系)を絞り込みたいため
- ・ 大学との連携強化のため、各教授へ訪問やメールでインターンシップ情報をご案内しています。
リクナビ等でも告知しておく、早期から学生の連絡先を収集でき、会社説明会等の開始時に声掛けできるため。
- ・ 別フォーラムに参加しているため
- ・ 文系、理系と学校が分かれているため、広く広報するため
- ・ 広い範囲で学生の受入れを行いたいためナビ媒体を利用しております。
単位認定は基本学校経由の必要があるため、フォーラム参加校以外には直接学校へ案内を出しています。
- ・ 学生に給料を貰って働く機会を提供し、それにより責任感を持って課題に取り組んでほしいと考えています。
そのために、長期のインターンシップを行い、社会に出てから役立つスキルを身につけさせようという狙いがあります。
- ・ タイのカセサート大学、PIMとMOUを結んでおり毎年インターン生を派遣頂いているため。
また北九州高専より直接インターン派遣の依頼があったため。
- ・ 商工会議所のインターンシップにも募集をかけていたため
- ・ 例年受け入れを行っている大学から連絡が入るため。
(但し、今回予定していた大学は新型コロナの件で、中止となった。)

3. 2020年度インターンシップで受入を行った学生の所属学校について（複数回答可）

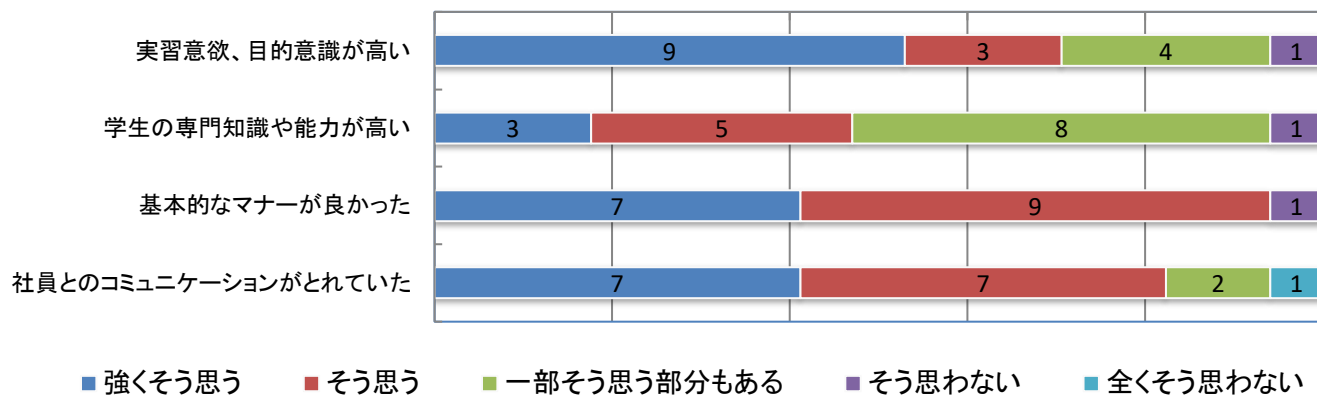
※フォーラム連携学校、高校は除く

大学名	企業数	大学名	企業数
九州国際大学	1	広島国際大学	1
福岡大学	1	米子工業高等専門学校	1
九州大学	1	新潟医療福祉大学	1
熊本大学	1	カセサート大学	1
近畿大学(産業理工学部)	1	パンヤーピワット経営大学(PIM)	1

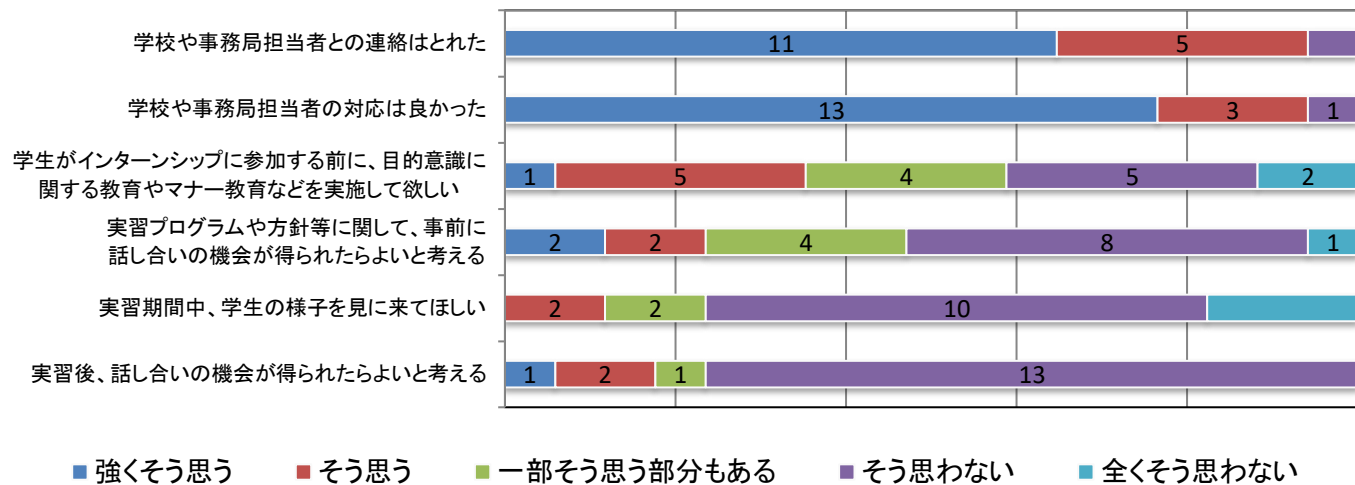
4. インターンシップを受け入れることによるメリットについて(優先順位3位まで回答)



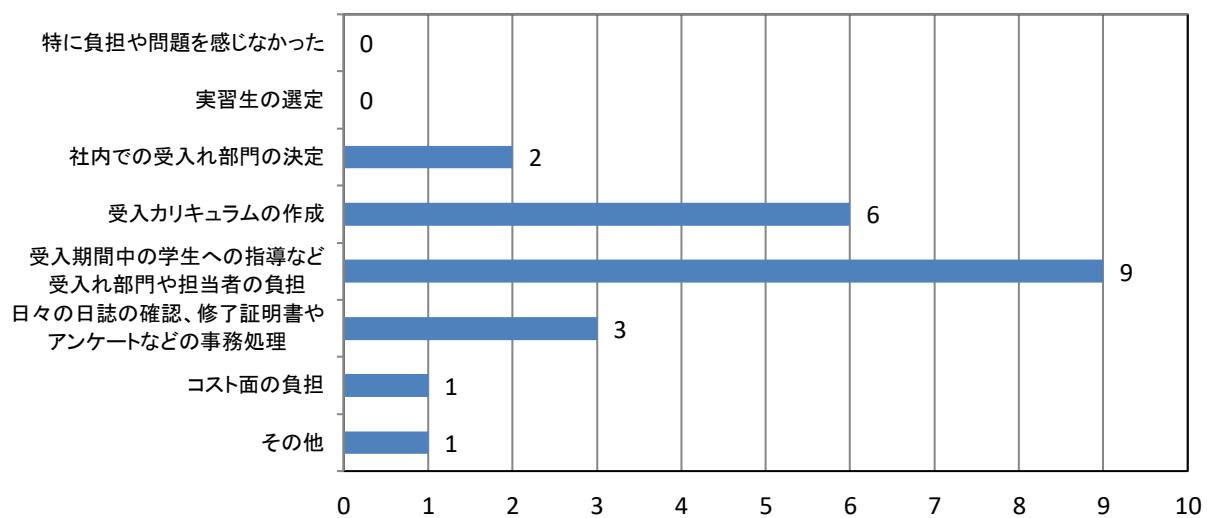
5. 2020年度インターンシップで受入を行った学生について



6. 学校や事務局の対応について

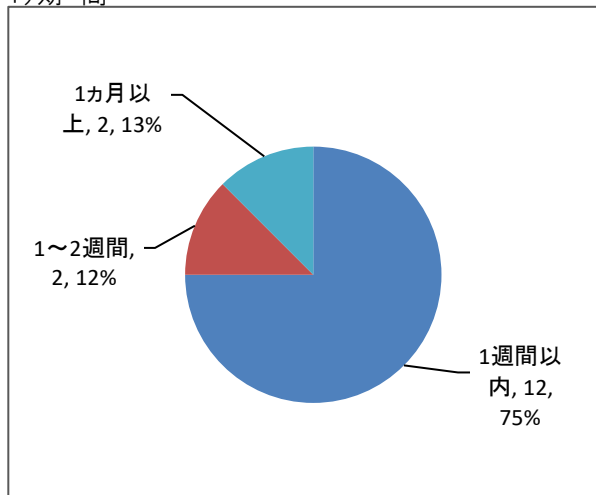


7. 受入に関して、どのようなところが負担や問題になっているか

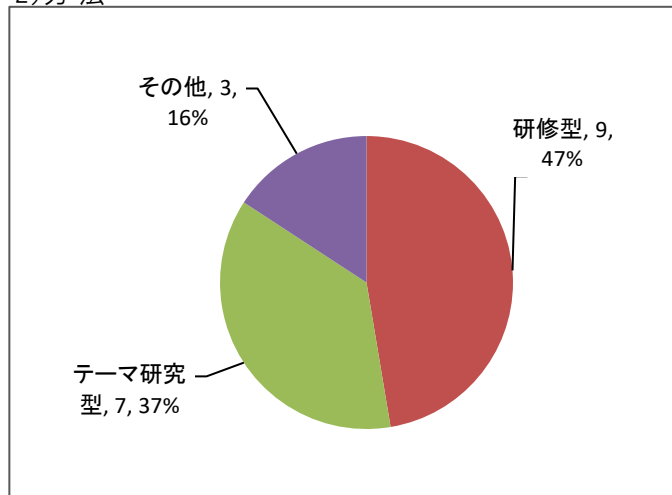


8. 貴社が考える有効なインターンシップの方法について

1) 期間



2) 方法



9. その他、フォーラムのインターンシップに関するご意見・ご要望・ご感想など(原文)

- ・ 参加学生が求めていたような経験を提供でき、満足されているように感じました。今後とも、よろしくお願いいたします。
- ・ 本年度はコロナウイルス問題で学生さん自身が遠隔授業を受けている段階で、インターンシップの申込が少なかったように思います。次年度以降、リモートでのインターンシップ参加の方法も検討が必要かもしれませんね。
- ・ 今回のインターンシップ対応ありがとうございます。受入側からの意見として、学生はインターンシップに対してどのような事を望んでいるのかとか、どのような事を経験したいのかなどの情報をいただくと助かります。
- ・ 報告会を行い、学生からの気づき・提案で社員が学生から教えていただく点もありました。この度は、ありがとうございました。引き続き、宜しくお願い致します。
- ・ 参加者からは「何かを学んで帰りたい」という思いが伝わって参りました。就活準備の位置づけで参加されている方が多く、企業側も単に就業体験の場を提供するだけでなく、学生の成長・ビジョン形成に繋がる要素を今後も取り入れたいと思います。

近年、インターンシップの普及により、就業体験を伴わないプログラムや、実態は半日程度の会社説明会といったものが増加しております。企業を知るきっかけとしては非常に重要と考えますが、インターンシップ本来の目的とは少しずれていると感じています。
- ・ テレワークでのインターンシップとなり、学生との意思疎通が平素より難しかったものの、最終的にはきちんと予定していた課題を終えることが出来てよかった。
- ・ 今回は弊社でもまだチャレンジ出来ていないMRグラスへの画像処理の実装も兼ね、生徒がMRグラスを使って何の役に立ちたいかをヒアリングし、その実現のためのツールの準備から実装までを経験してもらった。最新の技術に触れられた事と、実装に至るまでの方法論を学べたことで今後の自身の伸びしろを実感できたようです。大きな自信に繋がったようです。
- ・ ○今回、一度に4人を受け入れたが、細かいところまで目が行き届かなかった。
(受け入れは2名がベストだとわかった)
○インターンシップの単位を取り終えているにも関わらず参加している学生もいて、かなり意識が高いと思う反面、座学中に居眠りする学生もいて残念な思いをした。
(こちらが用意したテーマがつまらなかったのかもしれませんが)
- ・ 今回の学生も礼儀正しく、実習や与えられた課題等について、熱心に取り組んでいただきました。実習を担当した社員より、学生の方々からの質問について、的を得たものが多く、大変感心しておりました。最終日に学生の方からの感想のなかで、「高校時代は物理、数学が大好きだったが、大学に入り少し自信を失った。しかし、今回のインターンシップで高校時代の気持ちを思い出しました」との話をいただき、弊社にとってもインターンシップを実施し良かったと思っております。